

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
建築学科											
高度建築設備											
対象	4年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	長島 茂			実務 経験	有	職種	構造設計				
授業概要											
大規模な施設や特殊な建築物に応用される設備について学びます。											
到達目標											
設備設計に必要な以下の3点を到達目標とする。①建築設備の環境への影響、建築設備の現状について理解する。②圧力損失の理論と計算方法について理解する。③建築設備の維持監理について理解する。											
授業方法											
建築および都市に設けられている各種の環境設備、利便設備、安全設備、エネルギー供給設備等の技術について最新の状況を学び、環境や建築に対する影響について学ぶ。											
成績評価方法											
授業態度、平常点、期末テストなどを総合的に判断する											
履修上の注意											
最新の建築、都市設備に関する内容であることをふまえ、社会の状況、特にエコロジーの視点にたった情報やニュースを積極的に普段より見ておくこと。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。マナーについては、日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。											
教科書教材											
なし											
回数	授業計画										
第1回	設備と環境										
第2回	各種建築設備の現状										
第3回	エネルギー供給設備										

高度建築設備

第4回	新しい建築設備とその実際(1)
第5回	新しい建築設備とその実際(2)
第6回	新しい建築設備とその実際(3)
第7回	ダクトの圧力損失(1)
第8回	ダクトの圧力損失(2)
第9回	配管の圧力損失(1)
第10回	配管の圧力損失(2)
第11回	建築設備の制御
第12回	都市設備
第13回	建築設備と維持監理(1)
第14回	建築設備と維持監理(2)
第15回	建築設備と維持監理(3)